

平成 26 年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
調書

平成 27 年 9 月

地域振興部東部振興監東部振興課

組織改正に伴い業務を引き継いだ機関

元気づくり総本部東部振興監東部振興課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等 .....	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況 .....	1 頁
3	組織及び業務調べ .....	1 頁
4	職員の定員、現員調べ .....	2 頁
5	役付職員の調べ .....	2 頁
6	主な事業に関する調べ .....	3 頁
7	決算調書（総括表） .....	8 頁
8	事業別実施状況調べ .....	9 頁
9	予備費の充用調べ .....	10 頁
10	繰越関係調べ .....	10 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ .....	10 頁
12	収入事務処理状況調べ .....	10 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ .....	11 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ .....	11 頁
15	税外収入不納欠損額調べ .....	11 頁
16	債務負担行為の状況調べ .....	11 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ .....	12 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ .....	23 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの） .....	23 頁
19	財産に関する調べ .....	23 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ .....	23 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ .....	23 頁

22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	23 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	23 頁
24	寄附物件の受納状況調べ	23 頁
25	備品の処分状況調べ	23 頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	23 頁
27	貸付金等状況調べ	23 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	〔個別調書〕主な事務事業の実施状況調べ	24 頁
○	意見、要望等	25 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
東 部 振 興 課	企画調整担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部地区の地方機関等及び市町との連絡調整に関する事</li> <li>・ 災害対策本部東部支部に関する事</li> <li>・ 課の庶務会計事務に関する事</li> </ul>
	活動支援担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人の設立認証、変更認証に関する事</li> <li>・ 鳥取力創造運動支援補助事業に関する事</li> <li>・ グリーンツーリズムの推進に関する事</li> <li>・ 東部地区の観光振興に関する事</li> <li>・ とっとり創生支援センターと連携した取組の推進に関する事</li> </ul>
	八頭担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八頭郡3町に係る情報の収集、地域振興支援に関する事</li> </ul>
	農商工連携チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農商エコラボネットに関する事</li> <li>・ 農商工案件の検討会・研修会・マッチング等の支援に関する事</li> <li>・ 農商工連携モデル事例の育成に関する事</li> <li>・ いなばのジビエ推進に関する事</li> </ul>
	中山間地域振興チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町の中山間地域振興施策との連携・調整に関する事</li> <li>・ 中山間地域づくり支援事業に関する事</li> <li>・ 鳥取創生チーム東部会議に関する事</li> <li>・ 移住定住の推進に関する事</li> <li>・ 氷ノ山の活性化支援に関する事</li> <li>・ 国道29号沿線活性化に関する事</li> <li>・ 管内の集落・地域運営組織等の支援に関する事</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	27.4.1 現在	26.4.1 現在	
定員	10	10	2	2	0	0	12	12	
現員	9	(1) 10	2	3	0	1	11	(1) 14	
過不足(△)	△1	0	0	1	0	1	△1	2	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	2	0	0	0	0	1	2	事務 振興監秘書廃 止に伴い減員

5 役付職員の調べ

(平成27年9月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
東部振興監	齋藤 明彦	2年 6月	
東部振興課長	国岡 浩紀	6月	
“ 参事(活動支援担当 兼企画調整担当)	木村 正弘	1年 6月	
“ 農商工連携チーム長	小谷 秀文	1年 6月	
“ 課長補佐(総括)	谷口 卓也	2年 6月	
“ 課長補佐 (活動支援担当 兼中山間地域振興担当)	河上 昌輝	1年 6月	鳥取市からの交流職員(2年間)
“ 中山間地域振興リーダー	小林 七郎	1年 6月	
“ 課長補佐 (中山間地域振興担当 兼八頭担当)	前田 隆宏	6月	
“ 課長補佐	森田 清澄	2年 6月	鳥取市への交流職員 (派遣中:1年6月:2年間)

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>若桜鉄道ミュージアム創出事業</p> <p>決算額 7,772 千円</p> <p>財源内訳 一般財源 7,772 千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱつなげる (4)中山間地域の住民生活の安全・安心を確保した「持続可能な地域づくり」</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>若桜鉄道の駅舎や鉄橋等の諸施設の多くが国の有形文化財に登録され、貴重な歴史的遺産として注目されつつあるとともに「〇〇駅を守る会」といった住民を巻き込んだ団体の立ち上げが盛んとなり、これらの団体の連携を図る組織として「若桜鉄道沿線活性化協議会」が設立され、沿線一帯で若桜鉄道を「守っていこう」、「盛り上げていこう」という機運が高まっている。</p> <p>このような中、多くの魅力ある資源を有する若桜鉄道沿線一帯を鉄道ミュージアム（博物館）と見立て、全国へ発信・売り出すため必要な事業に対して支援を行い、新たな来訪者を呼び込み、沿線の活性化につなげるもの。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1 ソフト事業</p> <p>① 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の鉄道イベントへの出展による若桜鉄道ミュージアムの広報</li> <li>・「若桜鉄道まるごとミュージアムガイドブック」の改訂・増刷(7,000冊)</li> </ul> <p>② 観光ガイド研修</p> <p>沿線の地域資源の発掘方法及び体験イベントの企画・運営方法に関するワークショップを平成26年11月に開催。参加者8名</p> <p>③ グッズ制作</p> <p>ミュージアムロゴをプリントしたTシャツ・キャップを制作し、若桜鉄道社員が着用し、氷ノ山で開催されたスポーツイベントで広報活動を実施。</p> <p>2 ハード事業</p> <p>① 若桜町</p> <p>若桜駅構内転車台周辺の舗装、侵入防止柵の設置及び若桜駅詰所の屋根・外壁の美装化。</p> <p>② 八頭町</p> <p>改札口の復元（安部駅）、待合室引戸の修繕美装化（因幡船岡駅）、車椅子通路の新設（安部駅・因幡船岡駅）及び集荷場の復元（八東駅）</p> <p>3 情報発信事業（交通政策課に配当替えして実施）</p> <p>旅行ガイドブック（「ことりっぷ」）、テレビ番組（CS日テレ「鉄道発見伝」）、全国版情報誌（月刊「男の隠れ家」H26年8月号）及び新聞広告（産経新聞2月～3月）での情報発信。</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>平成26年9月に就任した若桜鉄道山田社長との意見交換を行い、その企画する定期観光列車や若桜鉄道沿線うまいもの祭等の沿線活性化イベントとも連携して情報発信等を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>若桜鉄道の地域資源・歴史的遺産としての再評価、地域住民のマイレール意識や誇りの醸成につながりつつある。また、多様な手法での情報発信により全国各地から若桜鉄道を訪れる人が増えた。</p> <p>エ 課題</p> <p>若桜鉄道ミュージアム創出事業は平成26年度で終了したが、今後も引き続き若桜鉄道沿線活性化協議会及びその構成団体が、主体的に歴史的遺産としての若桜鉄道を全国に発信し、売り出していく必要がある。</p> <p>これには、若桜鉄道が行う地域振興の取組と連動させることも有効であり、平成27年4月に実施されたSL運行社会実験の効果を見極めながら、活動の継続に対して支援していく必要がある。</p> <p>また、並行して走る国道29号線の日本風景街道への登録も視野に入れ、若桜谷全体で、鳥取県東部地区の観光地との連携を強め、より広域エリアでの誘客を進めていく必要がある。</p>

事業名	概要
<p>「幸せはこぶ福 (29) ロード」事業</p> <p>決算額 1,007 千円</p> <p>財源内訳 一般財源 1,007 千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 鳥取自動車道全線開通による国道29号沿線の交通量の減少、沿線地域の衰退をくい止めるため、鳥取・兵庫両県及び国道29号沿線市町・関係団体等で組織する「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」において、広域的な取組を通じて、地域の振興・活性化を図る。</p> <p>※協議会構成団体：兵庫県、鳥取県、宍粟市、姫路市、たつの市、鳥取市、若桜町、八頭町、国土交通省（鳥取河川国道事務所、姫路河川国道事務所）、宍粟市商工会、若桜町商工会、八頭町商工会、（公財）しそ森林王国協会、R29活性化委員会</p> <p>※事務局は会長の所属する機関であり、会長は両県で1年ごとに交代。 平成26年度は鳥取県（東部振興課）が事務局を担当。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1 福（29）ロードスタンプラリー 国道29号沿線の観光スポット・施設等を巡り、抽選で沿線市町の特産品をプレゼントするスタンプラリーを実施し、観光客の呼び込み、交流人口の拡大を図った。 ・実施時期 平成26年10月～平成27年9月（3期に分けて実施中） ・応募総数 198通（第1期）、284通（第2期）</p> <p>2 ニク（29）ロード推進事業 国道29号の鳥取県側の起点である鳥取市で肉グルメイベントを行うとともに国道29号沿線で行われるイベントにジビエ等の食ブースを出展するなど、ニクロードとしてのPRを実施した。</p> <p>① 鳥取市（平成26年11月28日～30日）地場産プラザ「わったいな」1129（イイニク）感謝祭29グルメ&amp;ジビエフェア開催。 （「いなばのジビエ推進協議会」と共催）（来場者：6,000人） フェアに出展したジビエ等肉料理提供店でスタンプラリー実施。</p> <p>② 八頭町（平成26年10月19日）八東総合運動公園 八頭町マルシェと連携。（来場者：2,300人）</p> <p>③ 若桜町（平成26年11月2日～3日）道の駅若桜桜ん坊 秋の大感謝祭と連携。（来場者：3,300人）</p> <p>④ 宍粟市（平成26年11月9日） 自然薯グルメフェスと連携。（来場者：500人）</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 自然豊かな風景や美しい景観に恵まれ、交通量が減少したことで快適なドライブコースとなった国道29号沿線地域の魅力発信により、観光誘客につなげるため、「日本風景街道」の登録に向けた勉強会を開催し、構成団体の機運の醸成を図った。</p> <p>ウ 成果 ニク（29）ロード推進事業を道の駅等のイベントと同時に開催することでイベントの集客増につながり、「ニクロード」としてイメージの定着を図ることができた。</p> <p>エ 課題 国道29号線沿線活性化のためには、国道373号沿線地域や鳥取県東部地区の観光地との連携を強め、より広域エリアでの誘客を進めていく必要がある。 また、沿線活性化の手段である日本風景街道への登録やニク（29）ロードのPRについても、民間団体の声を積極的に反映させ、行政主導から沿線地域が一体となった民間主導の取組がなお一層求められる。</p>

事業名	概要
<p>いなばのジビエ開発普及事業</p> <p>決算額 9,547 千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 9,547 千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>鳥取県東部の中山間地域では、猪や鹿等の有害鳥獣による農林産物への被害が増え、捕獲・殺処分される頭数も増加している。しかしその大部分（9割以上）が廃棄処分されている。これをジビエ（野生肉）として有効活用し地域特産品等に育成し売り出していく必要がある。最近、ようやく消費者のジビエに対する認知度が高まってきたが、今後も需要の喚起・拡大を図る積極的な取組が欠かせない。</p> <p>そこで、鳥取県東部のジビエに関心のある飲食店、物産販売店、食品加工業者、食肉処理業者、猟友会、商工会、地域活動団体、自治体等が連携して「いなばのジビエ推進協議会」を設立し、ジビエの認知度向上、イメージアップ、消費拡大等に取り組んでいるもの。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1 先進地視察</p> <p>6月17日：岡山県美作市「地美恵の郷みまさか」へ視察研修 参加者：協議会員他23名 視察内容：施設整備・管理運営方法、ジビエの衛生管理・個体管理方法、ジビエの販売額、経費等</p> <p>2 解体処理の技術研修</p> <p>鳥取県「イノシシ・シカ」解体処理衛生管理ガイドラインに沿った捕獲後の止め差しから精肉までの行程の作業研修</p> <p>(1) 7月9日：若桜町獣肉解体処理施設（わかさ29工房） 参加者：協議会員、猟友会他41名</p> <p>(2) 11月22日：鹿野町食肉解体処理施設 参加者：協議会員、猟友会他38名</p> <p>3 イベント等の開催</p> <p>(1) 森の贅沢 ジビエフェア（平成26年9月27日～平成27年1月29日） 一般県民へジビエ料理店、料理をPR。また、ジビエ料理注文へのスタンプラリー（抽選でジビエ加工品等商品プレゼント）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キックオフイベント（平成26年9月27日） ジビエ料理試食会を実施。参加者：ファンクラブ会員他65名</li> <li>・1129（イイニク）感謝祭29グルメ&amp;ジビエフェア 平成26年11月28日～11月30日：「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」と共催。</li> </ul> <p>(2) いなばのジビエフェスティバル（平成26年10月25、26日） 猪、鹿の有効活用の必要性と可能性を多くの県民の皆さんに理解してもらうため協議会員の出店（10店舗）や抽選会、鹿の食被害の展示等を実施。 場所：地場産プラザわったいな 来場者数：6,500人</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>更に県民への浸透を図るためジビエフェア等県民向けのイベントを実施し、また、とっとりバーガーフェスタ2014等県民向けイベントへ参加した。また、日本ジビエサミットや県外でのイベントで鳥取県東部産ジビエの売り込みを図った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>いなばのジビエ連絡協議会の活動や日本ジビエサミットの鳥取市での開催等が県内外の多くの報道機関に取り上げられ、「ジビエ」という言葉が一般県民に浸透し、更に鳥取がジビエの先進地であることもアピールできた。</p> <p>また、協議会の会員数は当初の33団体から45団体へ拡大し、特にジビエ料理提供店は3店舗から19店舗となり、鳥取県東部にジビエ料理が定着しつつある。</p> <p>エ 課題</p> <p>安心安全で品質のよいジビエを提供するため、県東部にワンストップで衛生的に猪、鹿を解体処理できる施設の整備が必要である。（協議会から鳥取市へ要請中。）また、更に広く県民へのジビエの周知による消費の拡大が必要である。</p>

事業名	概要	要
<p>とっとり因幡グリーンツーリズム推進事業</p> <p>決算額 1,648千円 (財源内訳) 一般財源 1,648千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ つなげる 様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 中山間地域の振興や農家所得の向上を目指す、地域資源を活用した都市農山村交流（グリーンツーリズム）の取組を県東部一円でネットワーク化して取組団体等に対する育成研修や一元的な情報発信を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 「とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会」（以下「協議会」という。）に対し財政支援を行い事業実施した。（財源：県及び1市4町の負担金並びに会員からの会費収入等） 〔協議会の事業実施内容〕 協議会のホームページを活用し、東部一円のグリーンツーリズム情報の提供を行った。また、ホームページ更新時にはフェイスブック、ツイッターでも情報発信した。</p> <p>①研修会の実施。テーマは以下のとおり。 第1回研修「着地型体験プランの未来とインターネットマーケティングの活用」 第2回研修「鳥取県内西部中部グリーンツーリズム取組視察交流研修」 ②鳥取マラソン2015に共同出店 特産品販売と観光PR</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ホームページのリニューアルを行い、県東部1市4町で提供されている自然体験等の情報を発信しグリーンツーリズムの魅力を紹介できるよう工夫した。また、協議会で一緒に活動していただける会員の加入促進に努め、新たに3団体の加入申し込みを受けた。 会員の活動内容も多様化してきていることから組織体制の見直しの必要性が検討されていたが、臨時総会で規約改正し、部会を設置して活動を進めていけるよう組織体制を整えた。</p> <p>ウ 成果 協議会に田舎体験部会、自然体験部会、特産品部会の3部会を設置し、部長、副部長を選任、今後の取組方針を議論し、会員同士が連携する気運が高まりつつある。 教育旅行、民泊の分野については、佐治で田舎暮らし体験として鳥取市教育委員会と連携して鳥取市街地の小学校の体験教育を受け入れており（平成26年度は16校808名の受入れ）、智頭では主に森林セラピーなどの個人客を中心にリピーターを獲得している。 また、農林水産物の消費拡大による地域の活性化の取組としては、今回初めて協議会の事業として、鳥取マラソン2015に出店し特産品ブース、体験メニューの紹介など広報に取り組むことができた。</p> <p>エ 課題 教育旅行誘致推進のため鳥取県教育旅行誘致協議会が設立され、協議会においても教育旅行を積極的に受け入れたいという意向の団体もある。こうした中で、関西等の学校に修学旅行先として鳥取県、そして東部エリアを選択してもらうためには民泊、体験プログラムなど圏域での連携による受入人数の確保、売込みが必要である。また、自然体験やアウトドアスポーツ（エコツーリズム）分野の団体も増えてきており、安全面、危機管理面での研修の必要がでてきている。</p>	

事業名	概要
<p>氷ノ山県際交流推進事業</p> <p>決算額 194 千円 (財源内訳) 一般財源 194 千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成24年3月若桜町で開催された鳥取・兵庫両県知事会議において、両県が県境を越えて交流・連携の取組を一層推進していくことが確認され、氷ノ山を鳥取県と兵庫県にまたがる一体の山として認識し、両県を始め関係市町及び団体等が連携して、氷ノ山県際地域の特徴を生かした交流を発展させ、交流人口の増加や同地域のにぎわいを創出するとともに、氷ノ山の観光資源の魅力向上に資する事業を行うもの。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会（事務局：若桜町産業観光課）に経費助成して事業を実施した。 ○負担割合：鳥取県1/4、若桜町1/4、兵庫県但馬県民局1/2 ※事業実施に当たっては、養父市も参画した。</p> <p>1 鳥取・兵庫両県往来氷ノ山交流登山ツアーの実施 新緑シーズンの氷ノ山の県境をまたいで往来する鳥取兵庫両県の交流登山ツアーを実施した。両県の登山ルートから登山し、山頂で合流後、集合写真の撮影及び記念品交換等を行ったあと、反対側の県へ下山し、両県それぞれの観光地をめぐる。 ○実施日：平成26年6月1日（日） ○参加者数 兵庫県側登山コース（鳥取県庁発着コース）30名（定員） 鳥取県側登山コース（養父市役所発着コース）30名（定員）</p> <p>2 氷ノ山両県一体マップ作成 氷ノ山山頂を中心とした鳥取・兵庫両県にまたがる登山マップの英語版と韓国語版を作成した。 ○A3両面カラー印刷 5,000部 ○配布先：道の駅、県総合事務所、市町村役場等</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 交流登山ツアーについて、昨年の1泊2日の行程では参加者が限られたため、多くの方に参加していただけるよう日帰りの行程とした。</p> <p>ウ 成 果 交流登山ツアーを日帰りの行程にしたことにより、両県とも多くの問合せがあり、定員一杯となって多くの方に関心を持っていただけた。また、県をまたぐコース設定も好評を博しており、氷ノ山が両県一体の山であるという認識が高まった。</p> <p>エ 課 題 現在は若桜町と養父市との交流が進んでいるが、宍粟市側の登山口までの道路の再整備が進められており、今後は宍粟市を含めた広域的な取組が必要である。 韓国の旅行会社やアウトドア誌出版社へのプロモーション等により外国での氷ノ山の認知度は高まってきているが、今後も外国語版登山マップを活用して、海外にも氷ノ山の魅力を発信していく取組が必要となる。</p>

7 決算調書  
( 総括表 )

一般会計

( 単位 : 円 )

区分	科目	予算現額				決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減		計 A	本庁			
歳出	交通対策費	7,800,000	0	0	0	7,800,000	7,771,580	0	0	28,420	
	自治振興費	11,052,000	0	0	0	11,052,000	8,794,346	0	0	2,257,654	
	農業総務費	10,629,000	0	0	0	10,629,000	9,546,325	0	0	1,082,675	
	観光費	4,738,000	0	0	0	4,738,000	4,247,409	0	0	490,591	
	合計	34,219,000	0	0	0	34,219,000	30,359,660	0	0	3,859,340	
同 上 財 源 内 訳	雑入	17,000	0	0	0	17,000	16,944	0	0	56	
	小計	17,000	0	0	0	17,000	16,944	0	0	56	
	一般県費 充当	34,202,000	0	0	0	34,202,000	30,342,716	0	0	3,859,284	
	合計	34,219,000	0	0	0	34,219,000	30,359,660	0	0	3,859,340	

## 8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越	差引残額	事業の計画と実績・成果
(交通対策費) (主)若桜鉄道ミュージアム創出事業	7,800,000	7,771,580	0	28,420	(3頁)
目計	7,800,000	7,771,580	0	28,420	
(自治振興費) 東部振興課管理運営費	10,902,000	8,644,346	0	2,257,654	非常勤職員2名分の人件費及び各事業の実施に係る東部各市町との連絡調整等に要した経費。
八頭郡活性化戦略会議	150,000	150,000	0	0	八頭地域に共通の課題や広域的課題の検討・取組による地域の活性化を図った。
目計	11,052,000	8,794,346	0	2,257,654	
(農業総務費) (主)いなばのジビエ開発普及事業	10,629,000	9,546,325	0	1,082,675	(5頁)
目計	10,629,000	9,546,325	0	1,082,675	
(観光費) (主)とっとり因幡グリーンツーリズム推進事業	1,648,000	1,648,000	0	0	(6頁)
岩美キッズトライアスロン支援事業	800,000	800,000	0	0	岩美キッズトライアスロン全国大会(参加者数264名)への支援を行い参加者に地域の魅力を体感する機会を提供した。
東部地区観光資源活用事業	893,000	598,605	0	294,395	東部地区の観光資源の発掘・活用を図った
(主)「幸せ運ぶ福(29)ロード」事業	1,007,000	1,007,000	0	0	(4頁)
(主)氷ノ山県際交流推進事業	390,000	193,804	0	196,196	(7頁)
目計	4,738,000	4,247,409	0	490,591	
合計	34,219,000	30,359,660	0	3,859,340	

9 予備費の充用調べ

該当なし

10 繰越関係調べ

該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

該当なし

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

該当なし

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

該当なし

(5) 寄付金

該当なし

## (6) 諸収入

(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	非常勤職員報酬雇用保険料本人負担分	1	16,944	16,944	0	0		
		本庁執行分計(目)		16,944	16,944	0	0		
		出納機関執行分計(目)							
		目計		16,944	16,944	0	0		
		合計		16,944	16,944	0	0		

## (7) 現金の取扱状況

該当なし

13 収入未済額調べ

該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約要領等含む)	備考
観光費	9,290		日本風景街道勉強会助言者に 係る負担金(高速道路料金)	個人	※定額	H26.11.14	9,290	会計規則	
新規以外のもの							3,258,000		※内、1,310 千円は観光 戦略課から の配当替え
目計							3,267,290		
自治振興費							150,000		
新規以外のもの							150,000		
目計							150,000		
環境保全費							1,500,000		※緑豊かな 自然課から の配当替え
新規以外のもの							1,500,000		
目計							1,500,000		
合計							4,917,290		

(2) 補助金

予算科目(交通対策費)

① 国補分  
該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
若桜鉄道ミュージアム 創出事業補助金 (平成24年度)	八頭郡八頭 町郡家75-1  若桜鉄道沿 線活性化協 議会		事業を実施 するために 必要と県が 認める経費	—	—	H27.5.8 外	概算	H26.6.9	1,000,000	
				H26.5.23 外	—	—				
若桜鉄道沿線一帯 を鉄道ミュージア ムと見立て、全国へ 発信・売り出して いくために、沿線住民 や活動団体等で組 織する団体や町が 行う主体的な取組 を支援	外2件		(補助率:10/10) 外				精算	H27.3.11	2,471,580	
			5,971,580	H26.5.30 外	H27.4.20 外	H27.5.8 外	精算	H27.5.22	2,500,000	
単 県 分 計									5,971,580	

予算科目（観光費）

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県氷ノ山県際交流 推進事業補助金 (平成25年度)	八頭郡若桜 町若桜801- 5		事業を実施 するために 必要と県が 認める経費	—	—	H26.11.21	精算	H26.11.28	193,804	
				H26.4.21	—					
氷ノ山の鳥取・兵 庫両県際地域の 特徴を活かした 両県の交流を発 展させ、氷ノ山の 観光資源の魅力 向上に資するた めの経費	わかさ氷ノ 山自然ふれ あいの里活 性化協議会		(補助率:1/4) 193,804	H26.4.23	H26.11.6	H26.11.18				

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
岩美キッズトライ アスロン支援事業 補助金 (平成23年度)	岩美郡岩 美町浦富 675-1		6,893,370	—	—	H27.2.3				
山陰海岸ジオパークを舞台に行われる岩美キッズトライアスロンの円滑な実施のため経費の支援をする。	岩美キッズトライアスロン全国大会実行委員会		(補助率:定額) 800,000	H26.7.22	H26.12.29	—	概算	H26.8.6	800,000	
ニク(29)ロード推進事業 (平成25年度)	鳥取市東町1-220		事業を実施するために必要と県が認める経費	—	—	H27.1.5				
兵庫県の猪鹿鳥料理等の取組と連携して国道29号沿線で行うニク(肉)に関連したイベント等の取組を支援	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会		(補助率:10/10) 外 707,000	H26.9.1	—	—	概算	H26.10.9	707,000	
				H26.9.11	H26.12.18	H26.12.25				
単 県 分 計									1,700,804	

## (2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

予算科目(企画総務費)

- ① 国 補 分  
該当なし
- ② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考	
						補助率及び 補助金額	概算 精算 の別	支出 年月日		金額
鳥取・島根広域連 携協働事業 (平成26年度)	八頭郡智 頭町智頭 2072-1		4,208,199	H26. 5. 29	—	H27. 5. 7	概算 精算	H26. 7. 7 H27. 5. 18	1,800,000 200,000	
				H26. 6. 9	—	—				
地域の森を使っ た癒しのプログ ラムを通じて都 市部からの交流 人口の増加を図 り地域活性化を 資する取組への 補助	山陰癒し の森事業 共同体		(補助率:10/10) 2,000,000 限度額 2,000千円	H26. 6. 19	H27. 3. 31	H27. 4. 27				
単 県 分 計									2,000,000	

## 予算科目（計画調査費）

- ① 国 補 分  
該当なし



予算科目（自治振興費）

- ① 国 補 分  
    該当なし
- ② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額 の 確 定 年月日	支 出 の 状 況			備 考	
				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額		
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日					
鳥取県みんなで 支え合う中山間 地域づくり総合 支援事業（買い物 支援事業：移動販 売車運営費助成） （平成24年度）										1,891,000	
買い物困難地域 における買い物 環境の改善を図 ることを目的に、 中山間地域等 での買い物支援に 係る取組を実施 している事業者 への移動販売車 運営への補助											
鳥取県みんなで 支え合う中山間 地域づくり総合 支援事業（地域活 性化支援事業） （平成24年度）	智頭町智 頭2072-1	一 部	2,914,480	—	—	H27.4.28 外	概算 精算 精算	H26.7.23 H27.4.22 H27.5.8	374,000 140,000 875,000		
地域の伝統文化 の伝承、景観・環 境の保全、都市部 との交流など地 域の誇りを再生 ・発展させる取組 や地域産業の発 掘・発展及び復活 のための取組等 への補助	智頭町山 村再生推 進協議会 外2件		(補助率:1/2) 1,389,000	H26.9.1 外	—	—					
			限度額 1,000千円 ／1事業	H26.9.3 外	H27.3.11 外	H27.4.10 外					

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考	
				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額		
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日					
鳥取県みんなで 支え合う中山間 地域づくり総合 支援事業（地域資 源活用型コミュ ニティビジネス 支援事業） （平成24年度）										2,961,000	
中山間地域等での地域資源の活用による特産品づくり、販売関連施設整備等を通じた新たな産業等を創出など地域住民の活力を引き出すような取組への補助											
鳥取県みんなで 支え合う中山間 地域づくり総合 支援事業（地域コ ミュニティスタ ートアップ事業） （平成26年度）	八頭郡智 頭町坂原 262	一 部	349,515	—	—	H27. 5. 18	概算 概算 精算	H26. 7. 17	100,000		
				H26. 5. 7 外	—	—		H26. 9. 1	92,000		
	（補助率：10/10） 292,000	H26. 5. 14	H27. 3. 31	H27. 4. 28	H27. 5. 22	100,000					
中山間地域において地域コミュニティの活性化を図るため、新たな取組を開始するための初期の活動やグループ立上げへの補助	籠富会外 2件		限度額 100千円 ／1事業								

(単位：円)

補助金等の名称 事業の内容	交付先 間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認または 内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考	
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額		
			交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日					
移住定住推進交付金 (平成20年度)									22,203,000	
県外から本県への移住定住を促進することを目的に、市町村が取り組む移住定住に係る事業への補助										
移住希望者の新規開拓に係る民間活動推進事業費補助金 (平成26年度)	鳥取市本町3-201	1,913,989	— H26.5.21外	—	H26.11.4外	概算 精算 精算 精算	H26.6.24 H26.11.21 H27.5.22 H27.5.22	300,000 300,000 280,000 300,000		
民間(NPO等の団体、個人)による本県への移住希望者の新規開拓につながる活動への補助	鳥取青年会議所外3件	(補助率:10/10) 1,180,000 限度額 300千円/ 1事業	H26.5.29外	H26.10.27外	H26.10.27外					
中山間地域の持続可能な生活支援システム実証事業モデル事業 (平成26年度)									126,000	
中山間地域での移動販売事業の継続性を確保するため、福祉的な事業を組み合わせるなど生活支援システムを構築する取組への補助										

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
							補助率及び 補助金額	概算 精算 の別	支 出 年月日	
事業の内容				交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日				
				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
中山間地域づくり サポート体制 構築事業（重点支 援集落活動支援 事業） （平成25年度）	鳥取市気 高町山宮 637-4		200,248	—	—	H27. 4. 15	概算	H27. 2. 23	200,000	
				H27. 2. 2	—	—				
重点支援集落が 行う地域課題解 決に係る実践的 な取組等への補 助	逢坂むら づくり協 議会		(補助率:10/10) 200,000 限度額 200千円 ／1事業	H27. 2. 6	H27. 3. 23	H27. 4. 10				
単 県 分 計									30,242,000	

予算科目（農業総務費）

① 国 補 分  
該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額 の 確 定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				交付申請 年 月 日	完 了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日	金 額	
食のみやこ鳥取 県推進事業費補助金（とっとり オリジナル加工 品づくり支援事 業） （平成20年度）	岩美郡 岩美町 新井 339-4		40,824	—	—	H27.4.14	精算	H27.4.21	20,412	
			(補助率:1/2) 20,412	H27.1.22	H27.3.31	—				
県産農林水産物 を使用した加工 品のブランド化 を図るため、新 商品の開発や販 路開拓の取組を 支援	J A い わみ女 性会「か きつば た」		(補助率:1/2) 20,412	H27.1.27	H27.4.13	H27.4.13				
食のみやこ鳥取 県推進事業費補助金(学校給食 等食材供給シス テム化促進事業 ) （平成20年度）	鳥取市 徳尾122  鳥取県 パン協 同組合		360,000	—	—	H27.2.16	概算	H26.6.9	150,000	
			(補助率:1/2) 150,000	H26.5.26	H27.2.9	—				
本県の農林水産 物を学校給食等 へ供給する体制 を整備するため の取組を支援			(補助率:1/2) 150,000	H26.5.29	H27.2.9	H27.2.9				
単 県 分 計									170,412	

(3) 交付金

該当なし

## (4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 年月日	金額		
											変更契約(最終)	
農業総務費	単 県	いなばのジビエ開 発普及業務委託	いなばのジ ビエ推進協 議会	(26.4.1)	26.4.1~ 27.3.31	—	27.3.31	概算	1,196,000	特定の者でな ければ納入で きないものを 納入させると き		
				4,196,000	4,196,000	—		随	27.4.3		概算 戻入	1,000,000 1,000,000 1,000,000 △379,962
農業総務費	単 県	いなばのジビエ有 効活用普及啓発事 業業務委託	いなばのジ ビエ推進協 議会	(26.6.24)	26.6.24~ 27.3.31	—	27.3.31	概算	2,293,000	特定の者でな ければ納入で きないものを 納入させると き		
				2,293,000	2,293,000	—		随	27.4.3		概算 戻入	2,293,000 △342,306
農業総務費	単 県	とっとりジビエ利 用促進総合対策事 業業務委託	国立大学法 人鳥取大学	(26.5.1)	26.5.1~ 27.3.31	—	27.3.31	概算	2,000,000	特定の者でな ければ納入で きないものを 納入させると き		
				2,000,000	2,000,000	—		随	27.5.12		概算	2,000,000
農業総務費	単 県	とっとりジビエ利 用促進総合対策事 業業務委託	(地独)鳥 取県産業技 術センター	(26.6.13)	26.6.13~ 27.3.31	—	27.3.31	概算	1,000,000			
				1,000,000	1,000,000	—		随	27.5.7		概算 戻入	1,000,000 △80,407
農業総務費	単 県	とっとりジビエ利 用促進総合対策事 業業務委託	(株)氷温 研究所	(26.5.21)	26.5.21~ 27.3.31	—	27.3.31	概算	860,000			
				860,000	860,000	—		随	27.4.24		概算	860,000
予定価格が50 万円未満のもの		0件										
目計									9,546,325			
交通対策費	単 県	若桜鉄道コミュニ ティ創出事業(情 報発信)委託							1,800,000	交通政策課 へ配当替え		
予定価格が50万 円未満のもの		0件							—			
目計									—			
計									11,346,325			

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	0	820	246	574	
合 計	0	820	246	574	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債 権

該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成27年3月 23日	・有 ○無		

2.7 貸付金等状況調べ

該当なし

2.8 主な事務事業の実施状況

(1) 管内地方機関及び市町村との連携

月2回のペースで、東部・八頭地区の全地方機関の長及び東部振興監が情報・意見交換を行う東部連絡会議を開催した。

市町との意見交換会については、以下のとおり実施した。

実施月日	参加市町	主な議題	備考
5月 9日	岩美町	ジオパークを活かした観光振興	
6月 3日	鳥取市	新市域振興ビジョンについて	
7月14日	八頭町	中山間地域振興	
8月 7日	八頭郡3町	人口減対策について	岩美町オブザーバー参加

(2) NPO、ボランティアとの協働

○特定非営利活動法人の認証件数

平成25年度末	117件
平成26年度新規認証	6件
平成26年度解散	1件
平成26年度末	122件

(3) 地域振興

平成25年度に東部振興課内に設置された中山間地域振興チームの兼務職員も含めた打合せを年2回開催し、県の関係部署が情報共有の上、連携して中山間地域の活性化に取り組んだ。本年度は、鳥取市の新市域振興監との連携を進め、用瀬アルプスの現地施設・植生調査、さじ地域の川床の取組検討、福部町支所と旧岩美郡の観光・交流の取組などの準備活動を行った。(平成27年度は地域おこし協力隊を受け入れて活動。)また、岩美町どんづまりハウス再整備が行われ、中山間地域振興チームが連携・支援、地域おこし協力隊が中心となって地域住民と協力して店舗運営を行い、一定の成果があった

(4) 農商工連携の推進

ア 農商工連携支援関係者の連携を図るための情報交換会を開催するとともに、研修会、交流会を開催した。

(ア) 農商工連携情報交換会(5回開催)

- ・開催日 平成26年5月16日(金) 外4回
- ・場所 県庁会議室 ほか
- ・内容 農商工連携支援案件の情報交換、現地視察

(イ) 農商工連携・6次産業化推進研修会

- ・開催日 平成26年7月9日(水)
- ・場所 鳥取市 鳥取県立図書館
- ・内容 講演会、リレートーク
- ・参加状況 55名

(ウ) 異業種マッチング交流会

- ・開催日 平成26年11月20日(木)
- ・場所 鳥取市 東部庁舎
- ・内容 商品の展示、PR、試食
- ・参加状況 19事業者(参加者61名)

イ 農商工連携の主な成果

- ・若桜町手づくりハム工房「つくしんぼ」が加工・直売所を増築整備し、商品増産の体制整備した。
- ・若桜町「オンリーＢＯＯ」が施設の改築を行い、焼きあげスペアリブ等の新商品の販売に取り組む。
- ・猪鹿庵がシカ肉の燻製「鹿スモーク」を商品化し、販売開始した。
- ・プリリアントアソシエイツ(株)等により「赤ビーツ」を活用したピンク色のカレーと醤油が企画され、レトルトカレーが商品化された。

(5) 危機管理の対応

一般災害対策として、組織改正（会計分室廃止）に伴い災害対策東部支部運営マニュアルを改訂、5月に東部支部早朝参集訓練、6月に災害情報システム操作説明会、7月に事務局員説明会を実施した。また、鳥インフルエンザ・口蹄疫対策として、5月に東部支部立ち上げ訓練、11月に防護服着脱、車両消毒訓練、2月に図上訓練を実施した。なお、新型インフルエンザ対策として、10月に強毒性ウイルス（エボラ出血熱）の説明会、2月に職員招集訓練を実施し、3月末に東部支部マニュアルを制定した。

(6) 小・中学校支援出前講座の実施

東部地区の県の各機関で実施できる講座のテーマを取りまとめ、小・中学校に開催希望を照会してマッチングした結果、平成26年度は以下のとおり実施された。

テーマ	講座担当機関	市町別実施校数	参加人数
地域づくり（中山間の現状と対策等）	東部振興監	鳥取市 1校	31人
		八頭町 1校	
健康（歯と口の健康作り）	東部福祉保健事務所	鳥取市 8校	377人
		八頭町 1校	
くらしと環境（食の安全・安心、地球温暖化の原因と影響等）	東部生活環境事務所	鳥取市 17校	723人
		八頭町 3校	
農業（農業用水路の役割と仕組み、おいしい果実の見分け方等）	東部農林事務所	鳥取市 5校	192人
	東部農林事務所八頭事務所	八頭町 3校	
土木、建設（防災、人にやさしい道づくり等）	鳥取県土整備事務所	鳥取市 3校	141人
	八頭県土整備事務所	八頭町 5校	
計	—	47校	1,464人

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし

